

平和を希求する心を育てる取組  
報告様式

報告年月日 2021年11月10日  
都市名・国 英国・オールダム

取組の名称	平和の種
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input checked="" type="checkbox"/> 複合(学校/Oldham Pledge to Peace Forum (平和フォーラムに対するオールダムの誓約) /オールダム議会)
テーマ・目的	平和に関する特別全校集会への参加および被爆樹木二世の苗木の植樹
対象者 (年齢・学年、人数等)	11歳以下の小学生230名、大人15名(教師およびスタッフ)
実施場所	St Pauls CE Primary School, Hindle Drive, Royton, Oldham
実施期間	2021年11月3日(1日間)
<p>取組の概要(授業、イベントはプログラムの次第を、その他(例:コンテスト等)はそのプロセスを、具体的に記入してください。)</p> <p>英国・オールダムのロイトンにある St Paul's CE Primary School は、オールダムで初めて Oldham Pledge to Peace Forum (平和に対するオールダムの誓約フォーラム) に署名した学校です。現在、オールダムでは、26校がこの誓約に署名しています。</p> <p>2017年から2018年には、同校の児童が、オールダムの他の4つの小学校の児童とともに、数千羽もの折り鶴を折りました。この折り鶴は広島市に送られ、8月6日の平和記念式典にかけて広島市の原爆の子の像に捧げられました。</p> <p>2021年11月3日に、Hilary Henderson 校長が特別集会を開催し、児童は平和への思いを込めて歌を歌い、生徒会のリードにより、平和への特別な祈りを捧げました。この集会では、オールダム名誉市長の Jenny Harrison 市議が挨拶しました。その中で、各児童が平和のためにそれぞれの役割を果たすように呼び掛け、一人ひとりの貢献が結集し大きな力となることを強調しました。</p> <p>ロイトンのセントポール教会の教区牧師である Graham Hollowood 司祭は、グラスゴーで開催された COP 26 会議について言及し、児童全員が自然と共存しながら平和を構築し、地球を救えるよう取り組んでくださいと挨拶し、その後、イチョウの苗木の提供に対する感謝の気持ちを述べました。また、集会では、Oldham Pledge to Peace Forum (平和に対するオールダムの誓約フォーラム) の事務局の Richard Outram 氏が、被爆樹木二世のイチョウについて、この苗木は広島で被爆してもなお生き残った木の種から成長したものであることを説明しました。そして、その種は平和首長会議会長である広島市長から、平和首長会議の加盟都市であるオールダム市長に送られたものであることが説明されました。</p> <p>集会の後、3年生~6年生の生徒会の児童は市長と市長の夫である Shaid Mushtaq 市議、Hilary Henderson 校長、Hollowood 司祭、Richard Outram 氏を、ピースガーデンに案内し、この苗木を</p>	

植えました。
<p>参加者の反応</p> <p>子どもたちは心を込めて平和の歌を歌い、集会全体を通して積極的に参加しました。</p> <p>生徒会により、苗木はピースガーデンに大切に植樹されました。</p>
<p>成果</p> <p>学校側には平和への誓約を再確認する機会に、子どもたちにとっては被爆樹木二世について学習し、平和に関する活動を行い、広島から送られた被爆樹木二世をピースガーデンに植樹するという体験を得ることができました。</p>
<p>課題</p>
<p>取組で使用した素材について（図書、映像、パワーポイントなど。内容をわかりやすく簡潔に記入してください。）</p> <p>苗木とプレート（説明標識）のみ</p>
<p>上記素材の共有の可否（取組で使用した素材を、平和首長会議のWEBサイトに掲載し、他都市と共有することに、著作権その他の問題がないか、次からお選び下さい。）</p> <p><input type="checkbox"/>掲載可能（素材を添付してください）      <input type="checkbox"/>掲載不可      <input type="checkbox"/>不明</p>

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。